

2023年8月23日

高知大学共通教育科目「土佐の海の環境学：柏島の海から考える」
第6回宿毛湾大学 オンライン座談会(ミニシンポ)
「海ごみ問題を考える：その実態と対策の取り組み」

DC セミナー指定 (博士)(文系)

日時: 2023年9月4日(月) 13:30~16:40 (予定)

於: Zoomによるオンライン開催

問題提起: どうする?! 海ごみ(神田優)

話題提供の講義: 「お金を払ってゴミを拾う?」プロジェクトマナティの地域インパクト(金城由希乃)

講義概要: 気軽にゴミ拾いで地域とビジターが繋がる仕組み「プロジェクトマナティ」の事例紹介です。GOODアクションで人々が繋がることで、旅先でも叶えられるエコアクションを紹介します。

keyword: サステナブルツーリズム エコアクション

パネル・ディスカッション(五十音順)

高知大学地域協働学部 石筒覚准教授(コーディネーター)

黒潮実感センター 神田優センター長

(株)マナティ 金城由希乃代表

金城由希乃さんについて: 株式会社マナティ代表取締役。沖縄県沖縄市出身。海の環境保全活動の一環として化粧品等の商品開発・販売を手掛け、2017年に発売した「サンゴに優しい日焼け止め」は日本青年会議所主催 JCITOYP。生物多様性 2018年アクション大賞審査員賞、2019年環境大臣奨励賞受賞。

【参加方法】

参加をご希望の方には、ZoomのIDを発行いたします。

メールでお送りしますので、下記URLの入力フォームから、9/2(土)17時までに必要な情報をご入力下さい(土佐の海の環境学の受講者は不要です)。

短縮URL: <https://forms.office.com/r/aLWs6dYZmD>

※この入力フォームに入力いただいた個人情報は、ご連絡や座談会への参加者把握等の目的以外には使用いたしません。

主催: 高知大学黒潮圏総合科学専攻・黒潮圏科学部門

NPO 法人黒潮実感センター

【照会先】

大学院総合人間自然科学研究科 黒潮圏総合科学専攻 新保輝幸 email: shinbo@kochi-u.ac.jp

【概要】

近年海洋ごみ、特に海洋プラスチックごみの問題が世間で取り上げられるようになりました。みなさんご記憶かと思いますが、2020年7月1日にレジ袋が有料義務化されました。その背景には、海洋プラスチックごみが国際的に取り上げられ、2019年のG20大阪サミットでわが国も海洋プラスチックごみの汚染削減を打ち出したことがあります。

2001年に始まった高知大学の授業、「土佐の海の環境学」は、2005年度から柏島での実習を開始しましたが、当初から竜の浜には多くのごみが漂着していました。黒潮と豊後水道の二つの海流は、柏島の海に多様な生物をもたらしますが、反面、多くの海ごみが海流に乗って流れ着くこととなります。実習の一環として、浜に一定の区画を設定してその中のごみを取り除き、どのようなごみが流れ着いているかを調べるという取り組みも行いましたが、単に近辺でポイ捨てされるごみが流れてくるのではなく、海流に乗って遠くは中国や朝鮮半島からのさまざまな空き容器(ガラスびんやPETボトル、プラスチックボトルなど)やごみ、あるいは瀬戸内海から漁業関連の大小のプラスチックごみが流れ着きます。特にプラスチックは水に浮きやすいため、ごみの大きな部分を占めていました。

環境省が行った海洋漂着ごみの調査によれば、海洋漂着ごみの中ではプラスチックごみの割合が最も高くなっています(個数ベース)。また北太平洋上の海域で大量の海洋ごみが集まっている太平洋ごみベルトで回収調査を行ったところ、99.9%はプラスチックごみであったとされています。

この状況を受け、各地で海ごみを拾い取り除く取り組みが行われています。多くはボランティアベースで行われているようですが、その際に問題になるのが、集めた海ごみをどう処理するかという問題です。多くの自治体でごみ排出の有料化が行われており、せっかく多くの人が善意で海ごみを集めても、その処理でさらに費用を要する場合があります。自治体の方のリソースも限られており、追加的な処理を行うが難しいということのようです。

この座談会では、沖縄でマナティプロジェクトを主宰する金城由希乃さんをお招きし、観光客に有料でごみを入れるバッグを貸し出し、海ごみを集めてもらうという取り組みについて、お話いただきます。

金城さんに加え、高知県柏島で長年海洋教育や環境保全活動を行っている、黒潮実感センターの神田優センター長、高知大学地域協働学部の石筒覚准教授の3名で、パネルディスカッションを行います。地域のみなさん、学生のみなさんと一緒に、海ごみの問題と海洋環境の保全について考えます。

14 海の豊かさを 守ろう

